

第4次垂水市総合計画

基本構想の全体図

基本理念

まちの将来像
水清く 優しさわき出る温泉の町 垂水

日本全体が人口減少社会へ突入し、少子高齢化・地球温暖化をはじめとする環境問題・地方分権社会への対応など多くの課題を抱えています。本市においても、その日本を構成する一員として、これらの課題を克服し、将来の世代に対して、よりよい環境を持続し、引き継いでいくことが求められており、また、今を生きる私たちの責務でもあります。

地域を輝ける未来にしていくことは、どのまちにおいても共通の課題であり、また、それを実現していくためには、莫大なエネルギーが必要です。

私たちの住む垂水市には、活用できる地域資源が数多くあります。

人、自然環境、そして、そこから生み出される産物。垂水市が輝き、愛されるまちにしていくために、私たち一人ひとりが、すべての人の多様な生き方や考え方を尊重し、個性と能力を十分に発揮しながら、それぞれの役割を自覚し、力を積み重ねていく必要があります。

まちづくりの基本理念を、
市民と協働のまちづくり
将来へ自信を持って引き継げる
環境に配慮したまちづくり
地域資源を活用したまちづくり

共生協働
次世代に引き継ぐ
地域資源の活用

とし、
まちの将来像を、
「水清く 優しさわき出る温泉の町 垂水」とします。

将来目標人口
18,000人

地域づくりの考え方

地域拠点地区においては、地域づくりの考え方や地域の将来像を盛り込んだ地域振興計画を定めて、地域の特性を活かした地域づくりを住民の手で進めていきます。

地域拠点地区（9地区）
境・牛根・松ヶ崎・協和・垂水・水之上・大野
柊原・新城

基本目標 1

住民による住民のためのまちをつくる
/ 地域づくり・人づくり・教育

垂水には9つの地域があり、それぞれに特色や伝統文化があります。これからの地域づくりは、自分たちのまちは、自分たちでつくるという意識のもとで、地域の特性を生かし自立したまちづくりをすすめ、誇りの持てる垂水市をつくるために学びあいの教育環境づくりをすすめることが必要です。

重点目標 1

自立した地域をつくるために / 地域の自立
活力のある自立した地域をつくるために、地域コミュニティの機能の強化を図りつつ、地域性を生かせる人材や実践していく人づくりをすすめます。また、市民、地域組織/NPO・議会・行政の役割を明確にして、事業者や地域の外とも連携しあいながら、主体的な活動が行える仕組みづくりをすすめます。

重点目標 2

学びあえる地域をつくるために / 学習の場
未来を担う子どもたちが、豊かな心とたくましい身体を持ち、自ら学び考え行動する「生きる力」を備え、「ふるさとを愛し、誇りにする子ども」となるために、良好な教育環境づくりをすすめます。また、地域づくりにおいては、大人も子どもと共に生涯学びあうことのできる環境づくりをすすめます。

基本目標 2

安心して暮らせるまちをつくる
/ 安心安全、保健・福祉、暮らし

市民が垂水で暮らして良かったと思えるようにすることが大切です。そのために、市民の生命・財産・暮らしを守る安心安全の取り組みや、市民一人ひとりが身体や心の健康を保ち、互いに支えあいながら市民生活をおくることのできる取り組みをすすめていくことが必要です。

重点目標 1

生きがいを持ち、健康に暮らすために / 生きがい・健康
市民一人ひとりが生きがいや夢を持つことが、身体や心の健康づくりにつながります。生きがいや夢を持ち続けるための取り組みをはじめ、予防の視点に立った医療体制の整備や食育の推進など市民の健康づくりをすすめます。また、一人ひとりの生き方や考え方が尊重され、すべての人が平等に活動できる環境づくりをすすめます。

重点目標 2

暮らしの安全を守るために / 市民生活
市民一人ひとりが安全で安心して生活を営んでいくために、災害防止や市民の暮らしの安全を高めていく取り組みや環境づくりをすすめます。特に市民一人ひとりが地域の地理的な特性の理解を深め、自助・共助・公助による助け合いの体制を構築していくなどの取り組みをすすめます。

基本目標 3

環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる
/ 環境、経済

私たちには未来の子どもたちに豊かな環境を残していく責務があります。地球温暖化など多様な環境問題に対して、産業と暮らしの中に環境配慮の仕組みをつくり、事業者や市民が積極的に参加できる垂水らしさを出した取り組みが必要です。また、市民の暮らしを支える地域経済においても、この垂水らしさを踏まえつつ、あらゆる産業が好循環となるよう垂水ブランドを意識した情報発信が必要です。

重点目標 1

自然と共生していくために / 循環型社会
垂水市の豊かな自然や資源、そして、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした観光振興をすすめます。また、地球規模の環境問題に対して、循環型社会「垂水モデル（バイオガスを利用した新エネルギー構想など）」を構築するなど、新たな取り組みをすすめます。

重点目標 2

経済が持続発展していくために / 産業活性化
垂水の基幹産業である農林水産業には、日本一といわれる産物があり、また魅力的な資源が数多くあります。生活習慣の変化や流通形態が多様化している中で、それぞれの分野を越えて、組織と人の積極的な交流を深め、知恵と工夫を出しながら、全体の循環を意識し、地域経済が活性化するための取り組みをすすめます。

基本目標 4

市民を大切に作るまちをつくる
/ 行政経営の方針

地方自治を取り巻く環境も大きく変わり、行政も市民も意識の変革が求められています。市民による市民のためのまちづくりを行うためには、徹底した情報公開を行うなど行政と市民との信頼関係を築いていくことが必要です。その上で市民がよりよく活動できる仕組みをつくり、また、市民の視点に立った行政経営を進めていく必要があります。

重点目標 1

市民から信頼される行政経営のために / 信頼される行政
行政は最大のサービス業という姿勢を持ち、職員の資質向上を図り、市民を顧客としてとらえるなど信頼づくりのための取り組みをすすめます。また、市民と行政が一体となったまちづくりの基盤となる男女共同参画社会を実現して、誰もが平等に参加し、活動できる環境づくりをすすめます。

重点目標 2

無駄のない行政経営のために / 持続可能な財政
健全な財政を維持することは、行政経営においては不可欠です。限られた財源の中で、創意工夫を重ね、効率的で質の高い事務を行うなど、持続可能な財政への取り組みをすすめます。